

Q 「地方版総合戦略」策定について

五伝木隆幸 議員



A 総合計画と総合戦略の整合性を図る

質問一 第5次総合計画（後期基本計画）と国の総合戦略との関係は。

二 「まち・ひと・しごと」を生ずる戦略をたてるための人材はまた、議会との関係は。

三 周辺自治体との連携のあり方。
四 総合戦略の目標、地方と東京圏の転出入の均衡の本市への影響。
五 結婚・出産・子育て・教育の

環境整備の現状と今後について。
六 地域産業の競争力強化や企業誘致の取り組みについて。

答弁一（市長） 総合計画において総合戦略の方向性を示し、総合戦略では具体的な取り組みと目標を設定する。両者の役割分担と整合性を図った検討を進める。
二 住民代表や多様な職の方を委嘱する。議会と執行部が車の両輪



となって推進できるようにしたい。
三 近隣市町でつくる計画に広域的な総合戦略の要素を盛り込む提案をしている。
四 郊外に位置する自治体の人口増は止まると推測している。
五 若い世代の希望をかなえる取り組みを推進していく。
六 農業大学の跡地を活用するなど、企業誘致を進め、雇用の創出と定住の促進につなげる。

◎**その他の質問** 健康診断受診機会の増加策について

Q 行政業務の民間委託のあり方

高橋 剣二 議員



A 効果が高いものは積極的に実施する

総務省が公表した「地方公共団体における新たな行政改革の取組の動向」にある業務の見直しとアウトソーシングについて。
質問一 市の業務の見直しにおける議論や取り組みの中心について。
二 見直しにおける金銭的メリット以外のメリットについて。
三 民間委託に際しての基本的な考え方について。
四 足立区は、専門・定型業務の民間委託を決め、国保業務の9割を外部委託しようとしている。専門・定型業務の民間委託の見解は。

答弁一（市長） 窓口体制の改善による職員の集約化や交通関連事務の一元化、報酬・賃金や各種公料金の支払事務の集約化など、事務の効率化について、絶えず検討を行ってきた。
二 業務の効率化によって人的な資源を生み出し、重点施策等に集中して配分できることが見直しによるメリットである。
三 コストだけではなく、多角的に検証を行い、効果が高いと見込まれる業務については、積極的に民間活力を活用したい。
四 今後、課題や業務委託の範囲の切り出しなどを検討するが、個人情報取扱などの課題もあるため、慎重に研究する。



市役所の1階ロビー